

【No.150】ACT-D療法

病名 _____ 外来開始日 _____ 年 月 日 治療開始日 _____ 年 月 日
 変更日 ① _____ 年 月 日 変更日 ② _____ 年 月 日
 _____ 科 ID _____ 氏名 _____ (才)

身長 _____ cm 体重 _____ kg 体表面積 _____ m²

主治医 _____ 指示医 _____ 確認医(科長) _____

PS 0・1・2・3・4

HBs抗原(+)→HBV DNA(), HBs抗原(-)→HBc抗体() HBs抗体()

指示内容		D1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
		月日													
① ○ポート患者 生食20mlシリンジ(穿刺) 生食250mlでルート確保後、ロック ○末梢患者 生食250mlでルート確保後、ロック	指示	●													
	受領														
	入力														
	実施														
② {グラニセトンバッグ100ml or 生食100ml+アロキシ(0.75) 1 A} +デキサート _____ mg+ポララミン _____ A +{ファモチジン _____ A or プロイメンド150mg} (30min)	指示	●													
	受領														
	入力														
	実施														
③ 生食50ml (全開)	指示	●													
	受領														
	入力														
	実施														
④ 生食50ml 0.6V + 注射用水20ml 1V +コスメゲン0.5mg _____ V (1.25mg/m ²) (全開) ※終了後①の残液でフラッシュ	指示	●													
	受領														
	入力														
	実施														
⑤ 生食20ml シリンジロック or ヘパリンシリンジロック (ポート患者のみ)	指示	●													
	受領														
	入力														
	実施														
2週毎(1投1休)															

嘔吐リスク: 中等度
 (30-90%)